

◆ 起点部、丁字交差点での「一時停止」への対応

○ 信号による停止や一時停止がなくスムーズに通行でき、燃費改善によるCO2削減等が期待できる、新技術「ラウンドアバウト」を採用。

⇒ 交差点での滞留、渋滞等を最小化



資料：檜山管内上ノ国町に設置されたラウンドアバウト（上ノ国町資料）



「一時停止」ではなく「ゆずれ」表示



環状交差点 標識

- 車両通行部分が環状で、道路標識により、車両は「右回り(時計回り)」に通行することが、指定されている交差点です。
- 交差点での待ち時間の減少、重大事故の抑制等が期待されます。

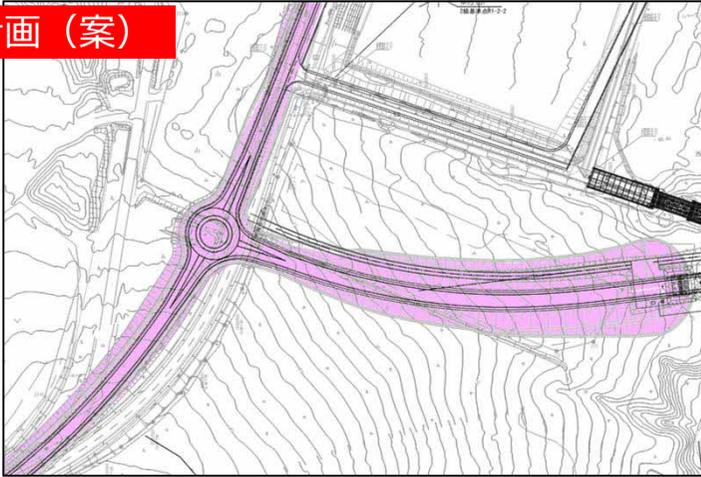


出典：既にラウンドアバウトが導入されている
栃木県大田原市の紹介資料より抜粋

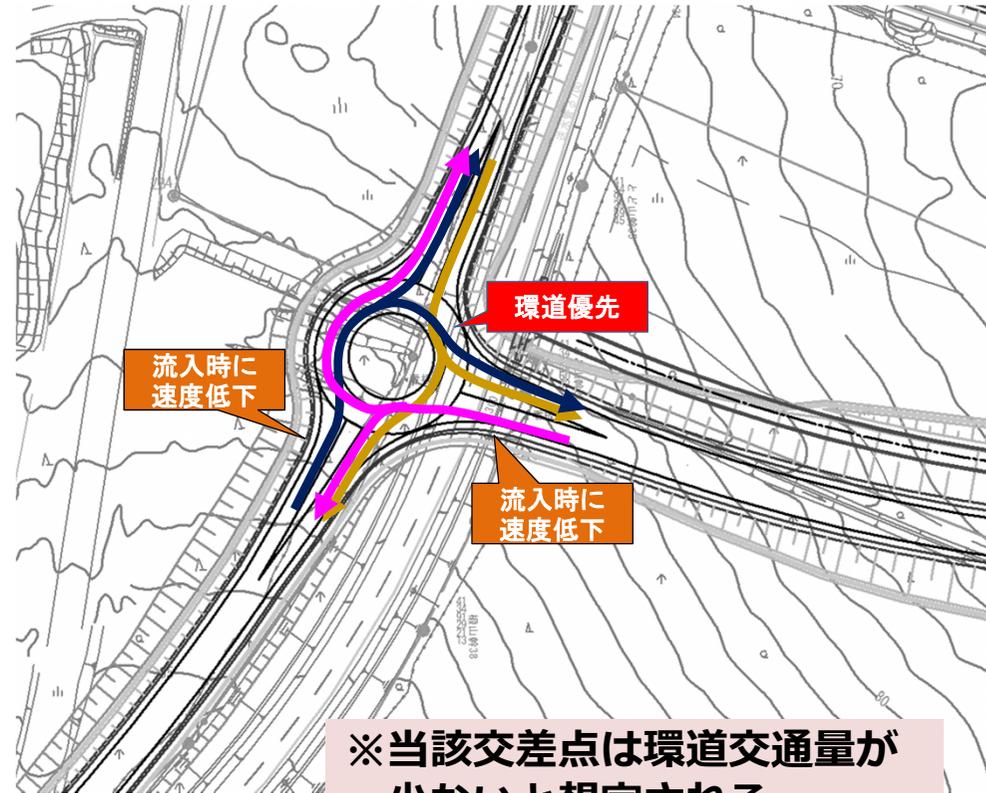
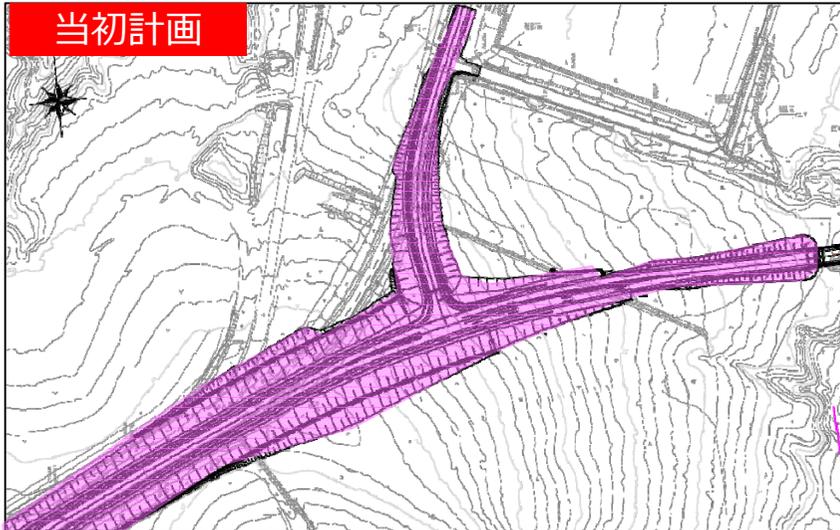
◆ 起点部、丁字交差点での「一時停止」への対応

- 「ラウンドアバウト」に変更することで、**大規模切土による改変範囲を縮小**。
- 一時停止がないため、入場時・退場時の集中する交通がスムーズに通過でき、**滞留、渋滞等を最小化**できると判断。

変更計画(案)



当初計画



※当該交差点は環道交通量が少ないと想定される。
⇒流入時の待ちは、ほぼ発生しない
= 速度低下はしない